

議事録

会議名	第1回教育課程編成委員会		提出日	2024年10月16日	
開催日時	2024年10月16日(水)		10:00~11:15	場所	本部館 6F 特別室
出席者	今井学校長、瀬尾副校長、宮田部長、猪俣委員、新井委員、武藤委員、中島				
				書記	中島
議事内容					
1. 学校長挨拶					
2. 出席者確認・紹介					
3. 議事 (報告:瀬尾副校長)					
①前期の職業実践専門課程実施に係る実習・演習実績報告					
②後期の職業実践専門課程実施に係る実習・演習予定・計画					
③質疑					
④教育課程への意見の集約と改善案					
武藤:群馬県の業務説明会はどんな感じでやっているのですか?					
瀬尾:人事委員会の方に来ていただいて説明をさせていただいている。					
武藤:採用パンフレットなどに、新入社員のコメントなどを載せたものがあるかと思うのですが、説明会でも新入社員の先輩の話が聞ける感じなのですか?					
瀬尾:主に、試験の話を中心に話して頂いています。今年は公務員試験の形が色々と変わっているので、そういうところとかの話が中心になるのかなと思います。					
新井:農業や技術系のコースは群馬法科でやっていくのですか?					
瀬尾:群馬県の採用として農業があるので、公務員としてのコースになっています。					
公務員試験の勉強もしますし、農業の勉強もするといった感じになります。					
技術職って希望者が少ないので、倍率が低いんですよね。					
武藤:自分なんかの世代で農業職というと農林大学校が圧倒的に多かったですもんね。					
あとは、林業とかっていうのは意外に、新潟から入ってくる人が多いですね。					
瀬尾:群馬法科では、土木専攻・電気専攻・農業専攻の3つのコースでやる感じです。					
石関:農業関係を希望する高校生の感触はどんな感じですか?					
瀬尾:今年に関しては技術職の募集が0なので、なかなか厳しい状況ですね。					

議事録

高校生で農業を専攻していた学生が公務員を志望すると、高校の段階で受かってしまうことが多いんですよね。それなので、群馬法科としては普通科で学んできた学生なども積極的に受け入れていきたいと思っています。

猪俣：今の公務員人気についてと初任給が上がっている現在、入学状況はどんな感じですか？

瀬尾：昨年入学が80名で今年の出願数が50名となっています。昨年度より厳しくなっているのが現状です。

猪俣：ついこの間までは公務員人気がすごかったのになぜ今は下がってしまっているのですか？

瀬尾：高校生で就職希望がかなり減っており、多くの高校生が進学希望というのが現状ですね。民間企業もかなり力をいれてやっていると思うのですけど、大学に進学する学生が多い気がします。現状、「大学に行ってから公務員になります」という学生もいますね。

猪俣：公務員になりたいという意思があつて入学してくる学生が多いと思うのですが、入学してから進路に対して迷う学生とかいるのですか？

瀬尾：毎年、数名いますね。本人希望の場合もありますが、家計の経済状況で働かなければならなくて、途中で退学をしてしまう学生もいます。

猪俣：ガイダンスなどの取り組みはしているのでしょうか？

瀬尾：群馬法科では無料のセミナーの実施や高校でのガイダンス・派遣講座などで公務員試験の授業を行っています。

宮田：3月22日に春のオープンキャンパスをやるのですが、そこで4つのコースに分かれて、職業体験をしてもらおうと思っているんですよね。消防に関しては富岡消防の方たちにバックアップをしてもらいながら、実際に機材を持ち込んで行う予定です。現在、申し込みが70名ほどいるので公務員人気は、まだあるとは思うんですけど、気持ちが最後まで続かないっていうのが現状ですかね。高校生が最後まで、気持ちを持続できるようにするにはどうしたらいいのか考えてはいるんですけどね。

4. その他 次回開催：2025年9月頃予定